

## 20. ハーモニー・ゴールド・マイニング社(Harmony Gold Mining)

### 1. 企業概要

本社	南アフリカ共和国・ヨハネスバーグ
主要事業	非鉄金属鉱山・製錬（主に金）
従業員数	52,992人（2004年6月末）
決算日	6月末日
主要関連会社	・オーロラ・ゴールド（Aurora Gold Ltd: 100%） ・アベル（Abelle Ltd: 100%）

### 2. 財務状況（Rand million）

	2004/2003 年	2003/2002 年	2002/2001 年
売上高 Sales	8,789	8,995	7,806
当期利益 Net Earnings (loss)	-523	639	1,680
資産 Total assets	30,062	15,185	14,368
流動資産 Current assets	2,742	2,912	2,574
負債 Total liabilities	9,281	6,557	6,405
流動負債 Current liabilities	2,453	1,534	1,881
株主資本 Shareholders' equity	20,781	8,628	7,963
探鉱費 Exploration expenditure (US\$ million)	14.3	6.0	6.0

### 3. 主要鉱産物の生産・開発状況

#### 主要鉱産物の生産推移<sup>1</sup>

	2003年	2002年	2001年	2003年の 世界シェア
金 (t)	117.5	98.5	75.0	4.6% (5位)

### 4. 沿革

南アフリカのヨハネスバーグに本拠を持つハーモニー・ゴールド・マイニング社は、自社での探鉱を行うと共に、積極的な合併・買収（資産の一部の買収を含む）により、成長してきた。ハーモニーが買収もしくは一部取得した資産は、Unisel(1996)、Evander(1998)、Masimong(1998)、Kalgold/WRC(1999)、Randfontein(2000)、Elandsrand(2001)、Free Gold(2002)、Hill 50(2002)などが挙げられる。

2003年から2005年に掛けて、ハーモニーは南アフリカの黒人優遇政策に基づき、黒人優遇企業である ARMGold、Anglovaal mining(Avmin)との間での複雑な株交換、資産移転を行い、Avminは ARMGold の所有する Modikwa プラチナプロジェクトの権益とハーモニーの所有する Kalplats プラチナ地区を取得し、ハーモニーは Avgold の単独の所有権を取得し、ARMGold はハーモニーの 22.2%の株式と Avmin の 63%の権益を得た。これら一連の操作により、最終的にハーモニーは ARM Ltd グループに属することになったが、ハーモニー自身も ARM Ltd の 19%の株式を所有している。

2004年6月に、ハーモニーはオーストラリアのパースに本拠を持つ Abelle Ltd を買収した。Abelle はパプアニューギニアの有力な未開発の鉱床を所有している。

ハーモニーは、権益の売却も行っている。2004年10月、ロシアで金を生産している Highland Gold の権益、ロシア、カナダ、アフリカに資産を持つ High River Gold の権益を売却した。さらに、2004年3月にはカナダの 100%子会社を Rice Lake Gold に売却した。

現在、ハーモニー社は、探鉱と生産の対象を金に集中する方針を採っており、世界最大の金埋蔵量を持つ会社となっている。金生産量としては世界第5位であるが、南アフリカにおける金生

<sup>1</sup> 生産量の値は、2004 Raw Materials Data を記載した。

産量では最大の企業である。

## 5. 事業内容

2003年からの3社による株交換・権益移転において白金に関する権益を手放したことで、ハーモニー・ゴールドの活動は金に特化したと言える。

### (1) アフリカ

南アフリカにおいて、多数の有力金鉱山を所有している。2003年以降の Avmin、ARMgold との合併・権益整理により、複雑に入り組んでいた Free State の金産出地区のかなりの部分をひと続きの土地として所有するようになり、南アフリカ最大の金産出企業になると共に、サイトの経営効率も向上した。

2004年主要権益保有鉱山による鉱石生産<sup>2</sup>

オペレーション名	権益 %	鉱量 百万 t	タイプ	品位	生産量 (権益分)
フリー・ステート・グロス(南アフリカ) Free State Growth	100	101.50	UG	6.93 g/t	27.67 t
フリー・ステート・マージナル(南アフリカ) Free State Marginal	100	42.99	UG	4.83 g/t	17.39 t
エバンダー(南アフリカ) Ebander	100	71.73	UG	6.86 g/t	11.2 t
ランドフォンテイン(南アフリカ) Randfontein	100	14.56	UG,OP	5.55 g/t	12.26 t
カルゴールド(南アフリカ) Kalgold	100	5.57	OP	2.11 g/t	2.54 t
エランドランド(南アフリカ) Elandsrand (Elandskraal)	100	33.33	UG	8.17 g/t	7.79 t
オークニー(南アフリカ) Orkney	100	3.74	UG	7.91 g/t	5.39 t

- ・フリー・ステート・グロスでは、Tshepong Decline プロジェクト、Phakisa Shaft プロジェクト、Masimong 拡張プロジェクトが進行中である。
- ・Tshepong Decline プロジェクトは2003年4月に始まり、2006年7月に完成の予定である。既存の坑道の更に深部の開発を行うことで、年間16,7000オンスの金の増産が見込まれる。
- ・Phakisa Shaft プロジェクトは2003年9月に始まり、寿命は約20年と推定されている。振る生産時には、年間280,000オンスの金を産出すると期待されている。
- ・エバンダーにおいて、Poplar プロジェクトと Rolspruit プロジェクトを検討中である。新たな坑道を開発することで、それぞれ年間10,000t程度の鉱石を増産することが可能になる。
- ・ランドフォンテインにおいて、Doornkop South Reef プロジェクトが進行中で、2006年6月に完成の予定である。このプロジェクトにより、フル生産時には毎月135,000tの鉱石の増産が期待される。
- ・エランドランドにおいて、総額6億ランドを掛けて、新たな坑道の開発が進行中である。この開発により年間350,000オンスの金を20年間に渡って産出することが期待される。

### (2) オーストラリア・パプアニューギニア

オーストラリアでは、2003年2月からAbelle社の買収に着手し、2004年6月に完了した。これにより、Abelleが所有していたオーストラリアとパプアニューギニアの鉱山と有望鉱床を取得した。主要鉱山としてはMount Magnet(西オーストラリア州)を所有する。Big Bell 鉱山については、2003年10月にWestonia Minesに売却された。調査中もしくは開発中の鉱

<sup>2</sup> 2004会計年度のannual reportに記載された鉱山名、データを採用した。

山としては、South Kal (西オーストラリア州)、Maude Creek、Burnside JV(ノースウェスト準州)、Bendigo(ビクトリア州)などがある。  
 パプアニューギニアでは、有望な鉱床である Wafi、Hidden Valley の調査が行われている。

2004 年主要権益保有鉱山による鉱石生産<sup>3</sup>

オペレーション名	権益 %	鉱量 百万 t	タイプ	品位	生産量 (権益分)
マウント・マグネット(オーストラリア) Mount Magnet (Hill 50)	100	12.4	OP,UG	4.00 g/t	6.00 t

## 6. 探鉱戦略

### (1) 概要

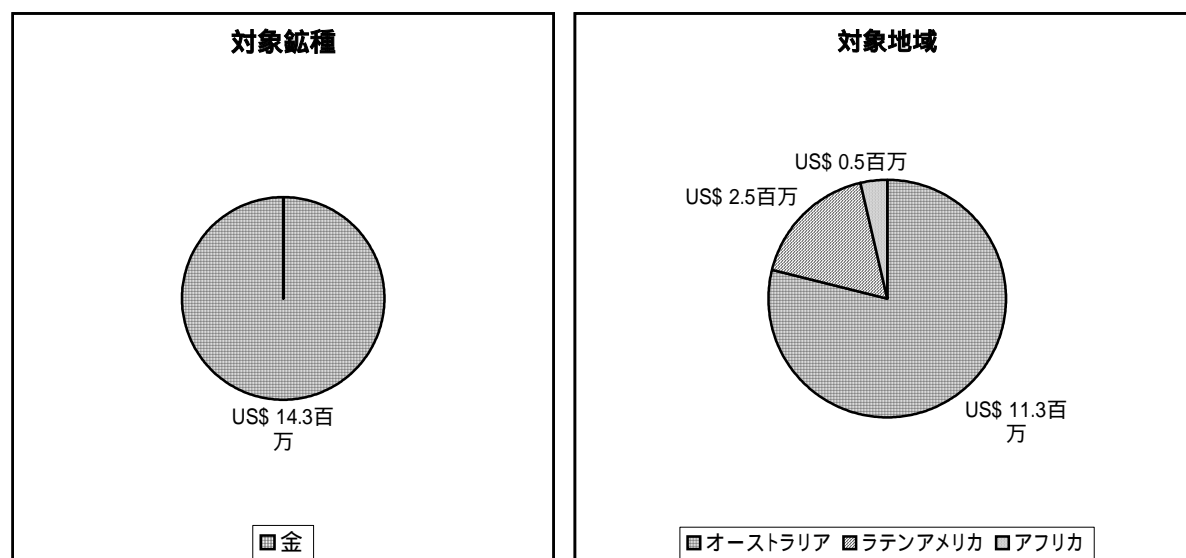
ハーモニーの探鉱予算は、同規模の他社に比較すると少なかった。その理由は、この会社が企業買収と権益買収にも重点を置いていたことにある。しかしながら、2004 会計年度は 2003 年度の US\$6 百万から 2.4 倍の US\$14.3 百万に増加させ、積極的に探鉱を行った。

### (2) 対象鉱種

主に金を対象としている。

### (3) 対象地域・探鉱段階

2004 会計年度は、オーストラリア (パプアニューギニアを含む) への探鉱費用が全体の 79% を占めている。



2004 年の探鉱予算

### (4) 最近の動向

(オーストラリア・パプアニューギニア)

オーストラリアでは US\$8.3 百万が開発段階の探鉱に、US\$3 百万が既存の金鉱山地域の活動に割り当てられている。

ノースウェスト準州の Burnside gold project において、Northern Gold と 50/50 のジョイントベンチャーにより、Zapopan 鉱床の調査が進んでいる。確認された埋蔵量は 247,300t、金品位 13.1g/t

<sup>3</sup> マウント・マグネットのデータについては、Raw Materials Data November 2004 に記載された 2003 年度の値を参照した。また、Big Bell の 2003 年の金生産量は約 4t であるが、2003 年 10 月に売却されたため、主要鉱山のリストから外した。

と発表されている。また、更に巨大な Gosmos Deeps 鉱床も調査も進んでいる。 既存鉱山地域の開発では、Mt Magnet と South Kalgoorlie の開発を行っている。

(ラテンアメリカ)

ラテンアメリカでは、ペルーにおいて探鉱を行っている。

(アフリカ)

南アフリカでは、US\$200,000 を既存の鉱山地域の活動に割り当てている。